

だいしや

NO. 489
2019年9月6日
発責 渡辺 一則
編責 編集委員会

エルダー職場を考える

支部エルダー社員意見交換会

8月28日、支部主催のエルダー組合員意見交換会（台車分会）が開催され、エルダー組合員10名と分会代表2名が参加し、エルダー職場の問題点の突合せを行いました。

エルダー出向先は、どこも本体より大変で、改善を求める声が多く出されていますが、それらの声をJR、出向先に伝え、改善させるために、エルダー制度が出来てから毎年行っている取り組みです。

台車分会では、ほとんどがJR TMに出向となっていますが、委託されたからのJRとの違いが明らかになる交流となりました。

変えたいこと変えてもらいたいこと 参加者の報告から一部抜粋

- ①熱中症に気を付けてとは言われますが、冷水器があるだけ。女性の皆さんも何とかしてほしいと言っていたことから過半数代表者は労働安全衛生委員会で、職場では有志でという形で会社に話してきました。結果的に扇風機が出され少しは耐えられるようになりました。しかし今どき扇風機？という声も出されています。
- ②台交作業は、各職場から要員を出さなければならない。要員が少なく、台交があると仕事が回らなくなる班もある。結果的に超勤になる時もある。台交があっても全体が回る要員体制としてもらいたい。
- ③炎天下の塗装職場の夏場対策を会社に求めてきた。様々検討はされていたようだが、防火などの関係でなかなか進まなかった。国労としてニュ

ースなどを出して全体の問題としていかなければ、広がらないのではないかと。

- ④2階は粉塵と騒音がひどすぎる。雨漏れもひどくなり、全体を増油圧のほうへ移動することも検討されている。ばね職場は、インパクトで締め付ける作業と磨く作業が一日続く。指が戻らなくなりそうになり、ばね指になるのではないかと感じる。粉塵では、マスクを1日何枚も使う状況。インパクトは、200系のころから変わっていない。JRだったらナットランナーに変えるなどしたと思うが、JR TMは金がないから出来ないと言って、体のことを考えていないと思う。
- ⑤これだけ問題があるのに、JRのように環境測定がされていない。一回測定して、粉塵、騒音を何とかしてもらうようにJRにも話してほしい。

意見交換会



今後の課題

JRは、「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」と提案し、委託外注化を進めてきました。それは、本音は別として、決して委託先の労働条件を引き下げて利益を上げることではないとしています。

エルダー出向先の改善は、JR全体の環境改善につながります。台車分会としても現場長要請などで、出向先の改善を引き続き求めていきます。

○拡大の状況

8月20日 東京総車セ 37才

○今後の日程

9月22日 仙台地本定期大会 TKP仙台西口37
10月12日 分会芋煮会 キリンビール仙台工場

お待ちしております

今年の芋煮会は 10月12日 キリンビール仙台工場



改善につながった事象 J-tec 福島

みんなの思いを届けて改善へ 熱中症にならないために

夏の炎天下の留置線電車内清掃作業は、車内温 40℃をはるかに超える状況での作業になります。

会社は、熱中症には気を付けてくださいとは言うものの、清掃作業については仕事だから仕方ないというだけでした。エルダーになった国労の組合員も我慢して清掃作業をし、作業員全員が「暑くてたまらない」「体がもたない」と話していました。

何とかならないかと考えたエルダー組合員が、せめてパンタグラフを下げないで、冷房をかけたままで作業が出来ないかと思い、作業員に話しました。すると、「そんなことが出来るのか？」という疑問の声と、「そしたら涼しい中で作業が出来、助かるなあ」という声が出されました。

そこから、みんなの声として会社に届けようという事になり、嘆願書を出すことに。国労はこういうことに慣れていますが、J-TECの皆さんはこんなことをしたら何かされるのでは？と、少々心配だったようですが、全員の名前を書いて提出しました。

J-TECの所長は、暑くて大変なのは分かっているという事で、JRに掛け合ってくれることに。結果、JRから、「留置線に収容後のパンタグラフの扱いについて」の文書が出され、パンタグラフを下げないことが運転士に周知されました。

大変なことは誰でも一緒です。みんなの思いをまとめ、その改善を全員で求めたことが働きやすい状況を作ることにつながりました。



通勤は慣れたけど 貨物分会歓迎激励会開催

8月30日、貨物宮城分会の皆さんによる、JR貨物東北ロジスティクスにエルダー出向となった千葉朗さんの歓迎激励会が開催されました。分会からも、高橋さん武田さんの2人が参加し、エルダー出向から1ヶ月経過した状況など近況報告を受けてきました。

休みも少なく、8時から始業と大変な条件の中で1ヶ月が過ぎたわけですが、「朝はいつも早く起きていたから早い通勤には慣れた。貨物の皆さんに激励される千葉さんでも奥さんが弁当を作るのが1時間早くなったので大変になっている。おにぎりでも良いと言っているが、今まで通り作ってくれるのが心苦しい」と、始業が早くなった事によって、家族にもしわ寄せがあることが分かりました。また、土曜日の半数以上が出勤のため、「明日も(8月31日)も年休を入れて、息子の結婚相手の家に挨拶に行かなければならない」と、うれしいはずのことだけでも素直に喜ばなくされた悔しさも話されていました。

一番強調されていたのは、ロジには半休制度がなく、残っていた半休が消滅してしまうと話され、エルダー提示のあり方が、労働者の権利も奪ってしまうことも考えさせられました。

分会も移管となりますが、今後も台車で何かあったら一緒にやっていきたいと千葉さんから激励もされ、悔しいながらも少し安心した歓迎会でした。

